

## 2021 J3 ■順位表 ■第23節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）  
（注：#印は消化試合が  
数字が多い）

1	熊本	45p	+18	34	16	H●
1#2	宮崎	43p	+11	34	23	HO
3	富山	41p	+11	33	22	A●
4	岩手	38p	+9	31	22	AO H△
1#5	福島	37p	+8	32	24	AO H●
6	岐阜	33p	+4	28	24	---
7	鹿児島	29p	0	27	27	HO A●
8	YS横浜	28p	-3	22	25	H● AO
1#9	長野	27p	+5	26	21	A●
10	藤枝	26p	+3	34	31	AO
1#11	八戸	25p	-12	20	32	H△
1#12	沼津	21p	-10	25	35	HO
1#13	讃岐	18p	-15	17	32	HO A△
1#14	鳥取	17p	-22	21	43	AO H●
15	今治	16p	-7	20	27	A● HO

## 次回HomeGame

第26節 vs.カターレ富山  
11/7 (日) 14:00  
@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしやませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

## today's guest : 長野パルセイロ

2020 J3 17勝8分9敗 勝ち点59: 3位

## 直近の対決と結果

2021/07/04  
J3 - 14節@長野U

## 長野 2-1 岐阜

中島賢星 scored.

## ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	長野パルセイロ
2021/10/17 J3 - 23節@長良川 岐阜 2-2 岩手	2021/10/20 J3 - 20節@プラスタ 八戸 0-0 長野
2021/10/10 J3 - 22節@ピカスタ 讃岐 0-0 岐阜	2021/10/17 J3 - 23節@長野U 長野 1-3 藤枝
2021/10/02 J3 - 21節@長良川 岐阜 2-1 今治	2021/10/09 J3 - 22節@ニッパツ YS横浜 0-0 長野

●前節のアウェイ讃岐戦で引き分け、いよいよ今シーズンの J2 昇格に黄色信号が灯ってしまった FC 岐阜。10/17 (日) 第 23 節、ホームに岩手を迎えて行われた一戦は、岩手が C K で先制点を奪うと、岐阜も前半 42 分に #42 柏木陽介の C K を #28 三ッ田啓希が押し込んで同点に追いつく。そして後半 64 分には、#8 中島賢星の F K がオウンゴールを招いて岐阜が逆転。しかし直後に選手交替で勢いを強めた岩手の攻撃で、岐阜もオウンゴールを献上。その後は一進一退の攻防を繰り返したが、決勝点を奪うことはできず、2-2 の引き分け。勝ち点 1 を積み上げる結果となってしまった。

勝利が必須だった上位チームとの大一番で、勝てなかった FC 岐阜。順位は 6 位と変化はなく、しかも首位・熊本と 2 位・宮崎の両チームとも勝利したため、勝ち点差はさらに引き離された。残り試合は 7、2 位との勝ち点差は 10。一般的には『追いつける勝ち点差は 1 試合で 1 点』と言われており、その法則からすれば、FC 岐阜が昇格できる可能性は一般的に見れば無くなった。しかし、まだ可能性が完全に消滅してしまった訳ではない。特に、2 位・宮崎は残り試合が 1 つ少なく、また（岐阜を含む）上位との対戦を 4 試合残しており、そして来季の J2 ライセンスを保有していないこともあり、今後の戦績が一気に低迷する可能性がわずかに存在する。いつ消えてしまうか分からない可能性だが、ゼロになるまでは決して諦めず、このリーグ戦で最後まで勝利を目指すしか無い。そして、この J3 リーグで勝利を目指して選手たちが戦い、僕らが応援をするのは、優勝や昇格のためだけではないはずだ。このホーム長良川で、応援するチームが活躍し、勝利するときの喜び。この地域に J リーグがあり、“非日常”の時間を日常的に楽しめるという意義。改めて、選手たちには目の前の 1 試合で勝利を目指すということに集中して欲しい。そして今日も最後まで、チーム全員がひたむきに走り抜き、自分や仲間を信じてプレーし、ゴールを奪って勝利する姿を、僕ら FC 岐阜サポーターに見せて欲しい。さて、今節の対戦相手は、A C 長野パルセイロだ。昨季は最終節でまさかの敗戦を喫して 3 位に後退し、J2 昇格を逃した。今季は 3 年目の指揮を執る横山雄次監督の元で補強をさらに進め、悲願の J2 昇格を目標にしていたが、4 連続引き分け・3 連敗で大ブレーキ。しかし 6 月に天皇杯 2 回戦で J1・首位の川崎と P K 戦まで戦って惜しくも敗れた後は、攻撃陣が活性化。引き分けを挟んで 5 連勝して調子を取り戻したかに見えたが、その後は #8 藤山智史が秋田に移籍した影響なのか、再び攻撃陣が不調に陥り、3 分 4 敗と再び急速。現在の順位は 9 位、2 位との勝ち点差は 16 で、岐阜以上に今季の J2 昇格は絶望的な状況だが、しかし、J2 昇格が遠くなったとはいえ、岐阜と同様に全力を傾けて戦ってくるだろう。ただし長野は、コロナ感染で中止になった第 20 節・アウェイ八戸戦を 10/20 (水) に戦った後、中 3 日で今日のアウェイ戦を迎える。コンディショニング的には圧倒的に岐阜が有利だ。このアドバンテージに慢心せず、岐阜の選手たちにはしっかりと勝利を掴み取って欲しい。

長野との対戦成績は、岐阜の 0 勝 1 分 2 敗・1 得点 4 失点。昨年 9/19 (土) 第 16 節・ホーム戦は 0-2 で敗れ、今季の 7/4 (日) アウェイ戦では、前半に先制するも後半に逆転されて 1-2 での敗戦。今節こそは、長野に初勝利を挙げなくてはならない。長野で最も警戒すべき選手は、現在 6 得点の #14 三田尚希だろう。しばらくゴールから遠ざかっていたが、前節ゴールを挙げて感覚も戻ってきていると思われる。そして、長野は失点数ではリーグ 2 位の堅守を誇る。岐阜が勝利するためには、何としても長野のゴールをこじ開けなくてはならない。前を向いて積極的に攻撃し、そしてシュートを撃つ姿勢を、岐阜の選手たちには見せて欲しい。全国的にも、新型コロナによる『緊急事態宣言』が解除され、ワクチン接種率の増加の影響もあってか、全国的に感染者数も徐々に減少傾向にある。ようやく少し一息つける状況になってはいるが、しかし、冬の訪れとともに、感染再拡大さらには『第 6 波』の可能性にも注意しなくてはならない。今月から J リーグ及び J F A は「ワクチン・検査パッケージ」と呼ばれるスタジアムでの実証実験を始めたが、まだリーグ戦では適用されないため、今節も、従来通りの感染防止措置の徹底が求められている。したがって、僕らは声を出して選手を鼓舞したい気持ちを抑えて、戦う選手たちの後押しをしよう。タオマフやゲーフラなどの掲出（振るのは禁止）でスタジアムを緑に染め、（声は絶対に出さずに）拍手や鳴り物の音をスタジアムに響かせよう。（ささたく）

投稿募集 !! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第23節】岐阜2-2岩手

●総じて言えば、両チームとも激しい攻防を繰り広げ、お互いにシュートを撃ち、得点を奪い合って最後まで戦い抜いた、ナイスゲームと言えるだろう。この試合“だけ”を見た場合は、これが開幕戦だったら、僕も選手たちを拍手で迎えるんだけど、全30節28試合のリーグ戦の第23節の試合としては、あまりに勿体ない試合だったとしか言い様がない。というか、この上位対決がそういう状況のもとで戦われてしまったことに、チームは猛反省して欲しい。油断してたのか何なのか僕にはよく分からないけれど、下位チーム相手に勝ち点を取りこぼし続けた結果が、今の僕らの順位だ。切羽詰まってから必死に戦うようになって、1試合の勝利で得られる勝ち点は3。ウチだけでは無いのかもしれないけれど、昨年に引き続き、リーグ戦の入り方が緩いのは何とかならないのでしょうか……（溜息）。こうなったら、来季は基本給をガッツリ削る代わりに勝利給とドカンと上乘せ……なんてことを、つい考えてしまいました（苦笑）。

先ほどは、上位対決の見応えのある(?)試合だったと評価したものの、勝てなかったのだし疑問は残る。まずは先制されたシーン。それまでも2回ほど、自陣ゴール前のセットプレーで、ターゲットの岩手の#4牟田雄祐をフリーにしてピンチを招いていたはずだ。なのに、何故に修正が入らないの?そして3回目もフリーにしてりゃ、そりゃ決めるでしょうよ……（溜息）。『今季のチームは、戦術修正が本当に下手だなあ……』と再認識させられてしまった。そして、前節よりはロングボールは(比較的)繋がってたかなと思うけれど、やっぱり雑に感じてしまうし、それ以上に、プレーの選択肢にドリブルを持っていない選手が目につく。自分で前に突っかけて相手を引っ張り出さないで、自分にマークがいない分、守備に相手を余らせてしまい、攻撃が手狭になっているように僕には見える。もっと自分に相手を引きつけさせて、味方をフリーにさせればいいのに……。もちろん、CKとFK、セットプレー2発で逆転したことは素直に喜びたいし、キッカーの#42 柏木陽介と#8 中島賢星には0.7点くらい差し上げたい(笑)。だけどそこで気になったのは、逆転された直後に岩手が3枚替えして一気に攻撃のギアを上げてきた時、ウチは何か対策を採ったかしら?3バックの弱点であるWBの裏、特にこの試合では右WBの#19窪田稜がかなり高めに張っていた分、いつも以上に右CBの横&裏が空いてしまっていて。そうでなくてもウチの左右のCBは上下動が大きくて、“2バック”になってしまうことが多いというのに、そこをケアしないから、しっかり狙われて綺麗に突破されて失点……今季何度も見慣れた風景だよなえ……（溜息）。オウンゴールになったけれど、ファーにはどフリーで岩手の選手が2人詰めてたから、失点は免れなかっただろうと思う。飲水タイムに戦術の修正を図った岐阜だけど、そこで気になったのは#19窪田→#7村田透馬の交替。岐阜としては勝たなければならぬのだから、左右の“香車”で攻め立てる方が良かったんじゃないだろうか……もちろん、『たられば』なんですけどね(苦笑)。

掴みかけた勝利は、この日も掌からこぼれ落ちてしまった。これで今季のJ2昇格は、残念ながらかなり遠のいたと言わざるを得ない。だけど、まだわずかに残された今季の希望のためにも、来季に繋げる希望のためにも、そして目の前の試合での勝利を期待するみんなのためにも、最後の最後まで、ファイティングポーズを取り続けて欲しい。(ささたく)

●上位の岩手を相手に、笛が鳴るまで全力で戦い抜いた試合。向こうの4番をフリーにし過ぎた嫌いはあるし、いつもと同じサイドから追いつかれてしまったけど、もっと得点出来たとも思うので、この結果はしかたない。遼平のパスをキングが合わせる事が出来たら。あるいは、前半の、キングからのパスを賢星がトラップ出来たら。当然、満足はしてない

けど、腑には落ちてる。長良川にいたら拍手してるよ。確定するまでは希望を捨てなくてもいいんじゃないかな?コレを4、5月……、いや、せめて、中断明けから見せてくれてたら、ね。

しかし、そんなことを言っても詮なきこと。試合はまだまだ続く。『人生とサッカーに消化試合はない。』というのは知人の言葉だけど、キャプテンのコメント通りなら、クラブを送り続ける仲間のためにも、モチベーションを上げて、最終戦まで全力を尽くしてもらいたいね。

(ぐん)

●もう数字的には厳しいでしょう。最後、必死さを見られたことだけが僅かな救いかな。

大事なのはこれまでじゃなく、これからをどうするか。それが残り試合、そして今後に繋がっていくんじゃないかな。

「人事を尽くして天命を待つ」

そんな言葉があるけど、それぐらいやったかやれたかで勝負の神様が気まぐれを起こすやもしれないけどね。

(リベロ)

●チーム戦術が整ったサッカーを披露する上位チームに喰らいついて、なんとか勝ち点を得ようとする。セットプレー2つで逆転したものの、追いつかれて勝ち点は1に。勝ち点3は得られなかったけれど、それでも「よく戦った」と満足した観客は多かったと思う。

いまの岐阜は、J3でその立場にいる。それをわかりやすいカタチで提示してくれた試合だった。この節が終わって、2位の宮崎とは勝ち点10差。宮崎の消化試合が1つ多いことを岐阜有利と考えたら勝ち点差は7。残り7試合で宮崎より2つ多く勝っても追いつけない。しかも、宮崎と岐阜の間には他に3チームもある。今季のJ2昇格はほぼ絶望でしょう。それは別にいいんです。受け入れられる結果だから。

受け入れるしかないじゃないですか、こんなサッカーを1年間続けられて。こんなサッカーでもJ3で中位より上にいられたのは、選手の戦力は超J3級だったから。その超J3級の戦力を『無戦略』『無戦術』で浪費し続けた結果が、残り7試合でのこの順位だ。だから、納得しているのです。

プロサッカーはエンターテイメント産業であり、選手はサッカーをする/サッカーを見せることで収入を得ているわけではない。観客の心をポジティブに作用させるのが仕事。それは勝利でもいいし、強い相手に必死に喰らいつくプレーでもいいし、折れない闘争心でもいい。その手段がサッカーだということ。だから、J2昇格というオプションがほぼ消滅した以上、選手はエンターテイメントに徹してほしい。勝利、プレー、闘争心。「よし、これからも応援しよう」と思える試合をしてほしい。そして監督さんは……クラブから「シーズンが終わるまでやれ」と言われているのなら、終わるまでやってください。

(吉田鑄造)